

令和8年6月11日

法人企業景気予測調査

(令和8年4~6月期調査)

【京都府下の調査結果】



政府統計

8年4~6月
現状判断は2期連続の「下降」超 (▲15.1%ポイント)

【概要】 ※ 特に断りがない場合、計数は全規模・全産業

1. 企業の景況（景況判断 BSI）

- **8年4~6月の現状判断** は2期連続の「下降」超 (▲15.1%ポイント)。
- **先行き** は、「下降」超 (翌期(8年7~9月) ▲2.9%ポイント) で推移した後、「上昇」超 (翌々期(8年10~12月) +4.6%ポイント) となる見通し。

(注) 景況判断 B S I は、前四半期と比較しての「上昇」-「下降」社数構成比。

景況判断 B S I (全規模・全産業)

(%)

現状判断			見通し	
7年10~12月	8年1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
+1.6	▲5.4	▲15.1	▲2.9	+4.6

(参考) 規模別・産業別 (現状判断・8年4~6月) (%)

(全産業・規模別)		(全規模・産業別)	
大企業	0.0	製造業	▲18.9
中堅企業	▲10.5	非製造業	▲12.8
中小企業	▲25.9		

2. 雇用（従業員数判断 BSI）

- **現状判断 (8年6月末)** は「不足気味」超 (+29.4%ポイント)。
- **先行き** は、「不足気味」超 (8年9月末 +24.4%ポイント、8年12月末 +22.3%ポイント) で推移する見通し。

(注) 従業員数判断 B S I は、四半期末の「不足気味」-「過剰気味」社数構成比。

3. 売上高・経常利益（除く電気・ガス・水道、金融・保険）

- **売上高** は、8年度通期では前年度比 +8.1% の増収見込み。
- **経常利益** は、8年度通期では前年度比 ▲2.6% の減益見込み。

4. 設備投資（除く土地、含むソフトウェア）

- **設備投資** は、8年度通期では前年度比 +34.3% の増加見込み。
- 製造業は同 +43.4%、非製造業は同 +18.7% の増加見込み。

(注) 調査対象は 290 社。回答率は 82.4%。

【お問い合わせ先】

財務省近畿財務局京都財務事務所 財務課
電話：075-752-1418

景況感等に関する企業の声（ヒアリング結果）

【製造業】

（現状）

- 生成 AI 関連の需要拡大を受けて、半導体メーカー向けで検査装置が好調である。（電気機械、大企業）
- トイレタリー用品向けの界面活性剤は引続き堅調に推移しているほか、石油由来原料の供給不足による仕入価格上昇分を 4 月以降に販売価格へ転嫁できていることから、売上高が増加基調にある。（化学、大企業）
- 人件費やエネルギー価格の上昇に価格転嫁が追い付いていない中、前期まで好調であった半導体製造装置の受注が反動により減少している。（業務用機械、中小企業）
- インクを中心とした資材全般の仕入価格が高騰しているほか、ガソリン価格の高騰など、あらゆるコストが想定以上の速度で上昇していることから、価格転嫁が間に合っていない。（パルプ・紙、中小企業）

（先行き）

- 半導体市況の拡大を受けて、引続き半導体関連製品の需要が好調に推移する見通し。（情報通信機械、大企業）
- 主力製品である紙器について、食品や化粧品向けなど幅広く展開しているものの、全体的に売行きが伸び悩む中、あらゆる資材の価格が高騰しているため、回復が見通せない。（パルプ・紙、中小企業）

（雇用関連）

- 製造現場において実務経験のあるオペレータが不足することから、これまでは感覚に頼っていた作業について、AI を導入することで簡易なボタン操作で実行できるように取組んでいる。（金属製品、中小企業）
- 最も不足感の強いレストランのホールにおいて、旅行者が旅中に短期で働くマッチングサービスを大型連休に初めて利用し、繁忙期の不足感が緩和したことから、今後の活用も検討している。（食料品、中小企業）

【非製造業】

(現状)

- 住宅開発・販売事業が好調である一方、今後の動向として、建築資材の供給停滞や価格高騰などの影響を懸念している。(不動産、中堅企業)
- 京都市内を中心に商業地の取引が好調。地価や物件価格も高騰しているため取引件数は減少傾向にあるが、1件当たりの販売価格が高いことから、利益率が上昇している。(不動産、中小企業)
- 建築資材の仕入価格が全体的に高騰しているほか、成型断熱材やシンナーなどの一部資材が不足気味である。(建設、中小企業)
- 官公庁向けでデジタルソリューションの受注が好調であった前期の反動がみられている。(情報通信、中小企業)

(先行き)

- 大浴場の改修工事を実施しているため、足下では予約件数が弱い動きとなっているが、工事完了後の予約状況でみると、国内客・インバウンド客ともに回復する見込み。(宿泊・飲食サービス、中堅企業)
- 当社管理ビルの修繕に伴い費用が増加するほか、イベントの開催が少ないことから売上げが減少すると見込んでいる。(不動産、大企業)

(雇用関連)

- 若手を中心に人材が不足している中、公共工事の受注件数が例年の約1.5倍に増加したことから、足下の不足感がさらに強まっている。(建設、中小企業)
- 新卒や中途採用の増員によって、適正な水準となる見込みであったが、退職者の増加や中途採用者の内定辞退などにより、足下では引続き幅広い部門で不足感があるため、中途採用の募集を継続している。(不動産、大企業)